

社会インフラ支え続ける

日本アスファルト合材協会会長 今泉 保彦

近年は合材数量の減少が止まらず、過去最低を更新し続けています。日合協では、需要拡大に向けた政策支援とともに、中温化合材の活用や高耐久常温合材の備蓄推奨を呼び掛け、災害時に空白地帯を



生まない供給網の構築に努めています。また、アスファルトガラ・コンクリートガラの需給のばらつきも深刻な課題です。地域での積極的な再生材活用が優先されますが、加えて全国レベルでの需給平準化、処理スキームの整備などの制度化を関係各所に要望しています。

脱炭素と働き方改革は引き続きの重要テーマです。さら

なるCO₂削減には再生中温化合材の普及が不可欠です。グリーン購入法の特定調達品目化に向けた活動などを継続し普及を後押しします。働き方については4週8閉所や土日休業の実現に取り組んでいます。東京地区では予約制導入などで閉所率が改善し、休日の少量出荷抑制に向けた環境整備も進みつつあります。揺れ動く環境下にあっても、変わらず社会インフラを支え、地域を守り続けるべく、法令順守を念頭に魅力ある発展を目指していきます。

